

KSKR

土曜日



NPO 法人つくし通信 No.68号

目次

1. 表紙
- 2.~3. 2025 年の年頭に 昨年前進したことなど
4. きょうされん全国大会
- 5.~8 活動紹介
- 9.~11. メンバーのつぶやき
12. 冬のボーナスキャンペーンのご報告
つくしハウスインスタグラム開設のお知らせ
13. 会費納入・寄付のお礼・お願い
14. 今後の予定・編集後記

2025 年の年頭に 昨年前進したことなど

NPO 法人つくし 理事長 遠山照彦

会員、利用者、職員、役員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。昨年も NPO 法人つくしに対して、多大なるご支援ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

本年は、法人の運営システムの刷新（「新運営システム」移行完了）を含めまして、いろいろな課題がありますが、それら乗り越え NPO 法人つくしが地域における精神障がい者の就労継続支援の場としてますます発展していけるように、皆さまと協力協働して活動していきたいと思っておりますので、今年もかわらぬご支援をお願い申し上げます。

昨年も、法人・事業所としていくつかの成果・前進がみられました。

一つ目は、事業拡大のためのツールとして、案内パンフレットの刷新（9 月）と、ホームページの刷新（10 月、PC 版にくわえてスマホ版も作成）、インスタグラムも開設しました。「つくしハウス」「つくしハウス インスタグラム」で検索するとアクセスできます。利用者や職員にも好評で、新規利用申し込み・職員採用・新規事業契約など、いろいろな点で効果が出てくる兆しが見られます。

二つ目は、上記とは別途に、新たな受注作業や事業所外作業（外勤）が増えました。また作業現場や生活現場の職員の支援と利用者の奮闘もあって、利用者 1 人当たりの平均月額工賃がアップしたことです。次年度には、「障害福祉サーピス報酬」（平均月額工賃額により区分されている。そのこと自体は障がい者福祉の生産性中心主義として批判しつつも）が、ワンランクアップする可能性が現実的となってきたことです。報酬アップ獲得のために、先日「2025 年初春バレンタインキャンペーン」をご案内させていただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

三つ目は、2025 年 4 月～法人の運営システムの刷新・「新システム」への完全移行に向けて、昨年 4 月～段階的に正副施設長（=業務執行理事）で構成する「事務局会議」が運営の中心に座り、「運営会議」（正職員等で構成）と密に連携して、現

場職員中心の法人運営が発展していることです。非常勤職員も含め全職員が心ひとつに連帯して、積極的に役割をはたしていることです。「バレンタインキャンペーン」の提案も、全職員が支援と経営をともに考える「姿勢・文化」の中で、ボトムアップ的に提案・実行されたものです。今後も全職員が心ひとつに連帯する「新運営システム」に大いに期待しているところです。

四つ目は、従来から行っていることですが、利用者個人個人に合わせた丁寧な支援(個別面談、職場でのカンファレンス、関係機関との連携など)を、多忙な中でも継続していることです。個別支援は手間のかかるものですが、これなしにはパーソナルリカバリーは達成できないでしょう。「丁寧な個別支援」は、つくしの最大の強みと言ってよいものだと自負しています。

相変わらず政府により精神保健医療福祉(福祉全体も)は後退させられ、今後も厳しい状況が続くと予想されます。今更言うまでもありませんが、民主主義的規制を失った新自由主義の世界支配・暴走の中で、貧富格差の拡大(搾取・収奪の自由化)や各地での戦争多発など深刻な世界状況となりました。このことは、文化・風潮として人間特に弱者の人権否定(人格・尊厳の否定、平等の否定、生存権の否定など)を生んでいます。これらは日本国憲法や障害者権利条約と真っ向から対立するもので、厳然たる態度で批判し続けなければなりません。同時に上記に述べた「前進・成果」のような創意工夫も、生き残るために大事だと感じています。

皆さまのますますのご健勝を祈念し、つくしへのご理解・ご支援をお願い申し上げます。

(2025.1)

きょうされん全国大会

11/8（金）と 9（土）に滋賀県草津市で開催された、きょうされん第 47 回全国大会に利用者さんと 2 名で参加してきました。きょうされんは旧名が「共同作業所全国連絡会」で、つくしハウスも加盟し、様々な学習や運動に参加しています。その全国の加盟事業所から利用者・職員等が集い、学習や交流を行うのが全国大会です。一緒に参加した利用者さんからは、「能登の災害やウクライナの戦争など、障害のある人が大変な状況にあることがわかった」との感想が聞かれました。

今回の大会を通じてたくさんの学びがありましたが、その中で大きなテーマとしてあったのが、「発達保障」です。発達保障とは、どのような障害を持って生まれた子供にも無限の可能性があり、それを引き出し豊かな生活を送ることが出来るよう支えていく取り組みで、障害児だけでなく高齢者を含むすべての人に発達の可能性があるとするものです。その考え方は、2006 年に国連で採択された「障害者権利条約」にもつながるものです。

今年の開催地である滋賀は、発達保障の源流の地と呼ばれる場所で、「社会福祉の父」と呼ばれた糸賀一雄さんが、戦災孤児と知的障害児のための施設「近江学園」や、重度心身障害児のための施設「びわこ学園」を開設されたことでも知られています。糸賀さんは子どもたちの可能性と尊厳を何よりも重視し、支援を与えるだけでなく、子供たちが社会の一員として輝ける存在であることを信じ、それを周囲に広く訴えました。糸賀さんが残した言葉に、「この子らを世の光に」というものがあります。この言葉には、障害を持つ子供たちが周囲の人々に希望や光を与える存在であり、社会において欠かせない役割を担う存在であるという思いが込められています。それは子供だけでなく、すべての年代の人にも当てはまることだと思います。

障害のある人がその人らしく輝いて生きて行けるよう支えていく。そのことの大切さを改めて感じた、とても学びのある全国大会でした。

（福万）

10/26 レク開所～タコパとクレープ～

GW に久しぶりにたこ焼きパーティーをしたところ「またやってほしい！」とお声をたくさんいただいていたので、2024 年度 2 度目のたこ焼きパーティーを開催しました(^)/

たこ焼き器の周りには自然と人が集まり「ほら、焼けたで！おいでや～！」と、終始和気あいあいとした雰囲気になっていました。皆で食べると一段と美味しいたこ焼き、次はいつにしようかと今から楽しみです♪

食後には電子レンジでクレープ生地を作ってバナナクレープにして食べましたが、こちらも好評でした☆

(井手田)

チャリティーバザーに出店させていただきました。

2024 年 10 月 27 日（日）、災害時ペット捜索・救助チームうーにゃんさんを支援するために開催されているバザーに出店し、メンバーさんと一緒に自主製品の販売をさせていただきました。このバザーは 11 回目となり、毎回楽しみにしてくださってる地域の方もたくさんいらっしゃいます。売り上げの一部を寄付するのですが、前回より多くの寄付ができました。誰かのお役に立てる活動ができて、たくさんの方のつながりを得られたことに感謝です。

(羽賀)



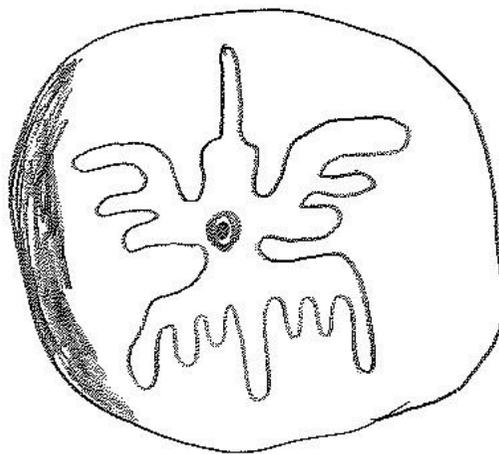
災害訓練

10月31日に利用者・職員合わせて18名が参加し、震度6強を想定した災害訓練を行いました。これまでに火災を想定した訓練は何度も実施していましたが、地震を想定しての訓練は今回が初めてだったため、戸惑う事も多く、机の下に避難した際には頭は守られているけど頭以外は机からはみ出ているという方も幾人か居ました。まさに頭隠して尻隠さずですね(笑)

今回の訓練は初めての災害訓練という事もあり、消防隊の派遣も要請していましたが、当日急遽立会いが出来なくなってしまい、予定していた応急救護講習も出来なかったため、改めて応急救護を学ぶ機会を作り、日頃から非常時に向けての準備を整えていきたいと思えます。

つくしハウスでは、京都市第4次地震被害想定や上京区ハザードマップに基づく災害時の行動指針を計画として作成しており、事業所所在地における最大震度予想が6強だったため震度6強を想定して訓練を実施しましたが、同じ京都市内でも最大震度予想が7の場所もあれば5弱の場所もあるため、皆さんもこの機会にご自身のお住まいの地域の最大震度予想を調べてみてはいかがでしょうか。京都市内にお住まいの方であれば、「京都市防災ポータルサイト」にて京都市第4次地震被害想定及び各行政区のハザードマップを見ただけですので是非一度ご確認ください。

(福田)



R.Y

上京サロンの文化祭



11 月 21、22、25、26 日の 4 日間、上京サロンの文化祭を開催しました。

作品展示は昨年より多く、9 名の方が参加されました。上京サロンの「あみものサロン」で月 1 回編み物を習い、初めて作ったエコタワシを出品された方がいました。その他にも、サロンをテーマにした詩、つくしハウスのレクリエーションや中国の古語を綴った書、絵画や写真、手芸小物など、バラエティーに富んだ作品が並びました。

最終日には恒例のパフォーマンスがありました。直前の体調不良などで出演されたのはお 1 人だけだったのですが、アンコール含め 4 曲のギター演奏を披露されました。終了後には客席から飛び入りで声かけがあり、「赤とんぼ」などの童謡を皆で歌いました。おかげさまで上京サロンらしいほっこりした会になったのではと思います。

ビンゴ大会は今年も好評で、用意した景品が途中で足りなくなり急遽追加しました。お菓子やシャンプーなどのリフィルが人気でした。

上京サロンでは今年も楽しいイベントを企画していく予定です。どうぞご来店ください。

（関口）

サロンクリスマス会



今年度のはんなり上京クリスマス会は、12 月 13 日（金）に開催されました。

総勢 14 人の方々が参加され、ケーキと飲み物を召し上がられながら、クリスマス会のプログラムを楽しまれました。

歌・ギター・鍵盤ハーモニカ・フルート・コントラバスなど様々な楽器を演奏される 4 人編成のグループ、螺旋楽団トランジスタボレロさんのミニコンサートがありました。昨年に続いての出演で、彼らが持参の小さな鈴やベルなどを何人かのお客さんらと一緒に奏でてもらう場面も。

コンサートの後は、定例の「お楽しみ抽選会」と「キャンドルサービス」が。皆で、きよしこの夜を歌いながら、ほっこりタイムのキャンドルサービスとなりました。

実習生さんとメンバースタッフさんらに大いに助けられて出来たクリスマス会でした。

（中村）

忘年会

12/21（土）、今年もつくしハウスの忘年会が開催されました。

今回はリーガロイヤルホテル京都でランチbuffetをみんなで楽しみました。少しリッチな雰囲気の中で、お洒落で美味しい料理をお腹いっぱい味わうことが出来ました。

また、実行委員さん扮するサンタさんから全員にクリスマスプレゼントも渡され、1 年を締めくくる、楽しい会となりました。

（福万）

新年会

1 月 6 日、新年会を行いました。

新年の挨拶のあとの、お雑煮をいただき、清明神社へ初詣に行ってきました。あいにく雨天でしたが、鳥居の前で集合写真もとれました。

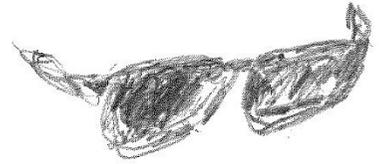
その後、コロナ感染対策の為、5 年ぶりとなりましたが、恒例のサイゼリヤにも今年に行く事ができました。みんなで Pasta や ケーキなどを食べ、楽しいひと時を過ごしました。

総勢 30 名の参加となり、賑やかな新年会となりました。

（上杉）



メンバーのつぶやき



がうサレ

大阪のちょっと細い道で
赤信号で待ってたら
後から来たオッサンに
「姉ちゃん まじめやなあー」て言われた。
やっば大阪!! なんでやねん!!

アヤ

「都々逸」 中川 博

○熱と寒さが愛後の山に
火の神さまに雪つもる

○駆けて登った愛後の山を
老いて視線で登ってる

○あったあったぞぼくらの居場所
明日からは胸はって

○働くことでわだかまりが
消えてゆくよつくしハウス

社協清掃 —初めての夏—

令和六年、夏、暑かった。

本当に暑かった、けど
みなで協力し合っ、てのりきれた。
この記事が載る頃は、寒、冬、
出たりかな？ 冬も頑張、て
のりきろう。

～移る、下、中、四季も、
体当たり、に、肌で
感じ、つ、つ～

PS. 休憩の時の、

冷えたお茶が

染めた～D Special Thanks ♡ 卓月

改、労働
並、勤
自、平、汗

241026

2024 年冬のボーナスキャンペーン

2024 冬のボーナスキャンペーンにご協力いただきまして誠にありがとうございました。今回は 181 件のご注文をいただき、売上額は目標額の 225 万を上回る 231 万 3,577 円となり、メンバーさんに多くのボーナスを支給することが出来ました。

また、今回も売り上げの一部を、「きょうされん災害支援基金」への寄付と、「京都市こころのサポートふれあい交流サロンはんなり上京」の運営資金に充てさせていただきました。重ねて、感謝申し上げます。

近年の物価高に伴い、売り上げがやや伸びづらい状況もありますが、そんな中でも「目標を高く持ちたい。それを達成するのが夢」とのメンバーさんの想いに寄り添い、ボーナス実行委員会を筆頭に今回のボーナスキャンペーンも頑張っていました。もっとお客様を増やすにはどうしたらいいか、お客様に喜んでもらえるにはどうしたらいいかを考えることもメンバーさんのやりがいに繋がっています。ボーナスキャンペーンをさらによいものにしていけるようメンバー・職員一同頑張りますので、今後ともよろしく願いいたします。

(井手田)

Instagram始めました！

今、流行りのInstagram（以降、インスタと表記）を、なんと！つくしハウスでも取り入れることになりました。インスタの良さは写真や画像で一目でわかること、即座に情報が発信できること、そして伝えたいことがどんどん広がっていくところです。実は、昨年末より試験的に開始していました。そして、数か月かけてようやく操作を理解し（笑）皆さまにご案内できるようになりました。

しかし一方で、インスタ導入についてはためらいもありました。SNS ならではの危険性があるからです。画像や写真を通じて個人情報が拡散、コメント炎上、フォロワー同士の思わぬトラブル…。特にインスタはフォローするだけで、すぐに他の人と繋がってしまい、開示している個人情報が簡単に閲覧できてしまいます。

これら危険性を回避するために、つくしハウスでは SNS 運用規程を作成しています。コメントをオフ機能にし、複数の目で個人情報が漏れないかチェックしています。

安全に配慮しながら、行事や出店、何気ない一コマをインスタに上げることで、つくしハウスの「今」「魅力」を、世界に向けて発信していければと考えています。

アカウント名は「つくしハウス」です。良かったら、検索してみてください。なお、新しくなったホームページからも移動できますよ(^_-)☆

(今井)

★いつもご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございます★

★2024/10/1～/1/31 にご協力して頂いた方です。（順不同）★

★総額¥98,020★

正会員の皆様	賛助会員の皆様	ご寄付・物品を頂いた皆様
廣瀬勝様/中右京健康友の 会様/つくしハウスご家族 の皆様/他 会費総額：10,000 円	坂口雅美様/蔵田共子様/木 原輝久子様/蔵田力様/丸井 規博様/汐崎啓子様/つくし ハウスご家族の皆様/他 会費総額：18,000 円	大野研而様/牧野雅弘様/川 上宏智様/遠山照彦様/高城 佳代子様/余根田保様/舘澤 謙蔵様/尾崎望様/上京診療 所様/つくしハウスご家族の 皆様/他 寄付金総額：70,020 円

※会員総数 正会員：42 名 賛助会員：38 名

※正会員の方で賛助会費をいただいた方につきましては、ご寄付として掲載させて頂いています。ご了承下さい。

2024 度 NPO 法人つくし 正会員費・賛助会費納入 ご協力をお願い

NPO 法人つくしの財政は、皆様方の温かいご協力とお力添えにより支えられています。この場を借りて心からお礼申し上げます。正会員費・賛助会費の納入にご協力をお願い致します。

正会員費	2,000 円（年間）
賛助会費	1,000 円（一口）

※同封の振込用紙をご利用ください。口数、金額をご記入頂けますようお願い申し上げます。

また、『土曜日』にご氏名を掲載することがございます。お手数ですが、（可・不可）のいずれかに○印をつけて頂ければ幸いです。

記入例：正会員費 年会費（年 2000 円）1 □ ￥2,000

賛助会費 会費（1 □ 1000 円）1 □ ￥1,000

寄付金 ￥2,000 など

※すでにご協力頂いている方につきましても、振込用紙を同封させていただいておりますので、ご容赦ください。誠に勝手ばかり申し上げますが、ご寄付を頂ければ幸いです。

<今後の主な予定>

2月15日 レクリエーション開所
3月15日 レクリエーション開所

NPO 法人つくし つくしハウス
〒602-8141 京都市上京区堀川通丸太町上る上堀川町 114
TEL 075-366-6064 FAX 075-366-6065
Email onikai@iaa.itkeeper.ne.jp
HP <http://tsukushihouse.org/>

上京こころのサポートふれあい交流サロン
〒602-8148 京都市上京区丸太町通堀川西入西丸太町 185 番地
京都二条ハイツ 202
TEL/FAX 075-755-7017

編集人 NPO 法人つくし
〒602-8141 京都市上京区堀川通り丸太町上る上堀川町 114
発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺真田山町 2-2 東興ビル4階 定価 50 円

<編集後記>

今号は、レク開所や忘年会など、行事関係の記事をたくさん載せさせて頂きました。改めて、「行事のつくしさん」が戻って来たなあと感じています。日々の作業も忙しいですが、だからこそ、色々な行事も大事にしていきたいと思っています。

今号もお読み頂き有り難うございます。皆さまのご意見、ご感想をお寄せください。よろしくお願い致します。

(福万)

